

～今月の花木～



ミツマタ 三極

ジンチョウゲ科・落葉低木・中国ヒマラヤ地方原産

名前の通り三つ又に分かれた枝から黄色い花を咲かせる。日本では和紙・紙幣の原料として昔から重宝されている。



サクラと言えば多くの人が「ソメイヨシノ」と答えるであろう圧倒的な知名度を誇ります

染井吉野だけじゃない 季節を彩るサクラの話

今シーズンは都心部でも大雪が観測されるなど、首都圏全域で平成26年豪雪を思い出させる厳しい冬となり、いつも以上に春の訪れを今か今かと待っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

春の代表的な樹木としてサクラは日本で最もなじみのある樹木のひとつといっても過言ではなく、出会いと別れを彩るものとして、はたまたお花見の代名詞として高い人気を誇ります。

現在国内で最も多く生育されているものは「ソメイヨシノ(染井吉野)」という園芸品種です。樹木に詳しくない方でもソメイヨシノはサクラと言う事は多くの方が知っているとされています。通常メディア等でサクラ前線・サクラ開花予想などと報じられているものはソメイヨシノの事を指しています。

しかしソメイヨシノとはあくまで品種改良によって作られたサクラの1品種に過ぎず、日本のサクラは基本種だけでも9種、変種を合わせると100種を超え、それらを交配させた園芸品種を合わせると実に200種を超える(分類によっては600種とも!)とされています。

今回はソメイヨシノ以外のサクラにもスポットを当て、ごく一部ではありますがその個性的な姿をご紹介します。

サクラを品種で見よう～品種の多いスポット～

色々な品種を楽しむには

ソメイヨシノが植栽された公園や河川敷は多くありますが、多くの品種を植栽している公園や施設も東京・埼玉には多数みられます。いずれのスポットも3~4月頃にイベントを行ったり、夜桜を楽しむためのライトアップを実施するなどしているようです。

品種の多いスポット～東京都～

- ・多摩森林科学園(八王子市) 約600種、約1,700本
- ・新宿御苑(新宿区) 約65種、約1,100本
- ・神代植物公園(調布市) 約65種、約750本
- ・小金井公園(小金井市) 約50種、約1,700本
- ・国営昭和記念公園(立川市) 約30種、約1,500本

品種の多いスポット～埼玉県～

- ・花と緑の振興センター(川口市) 約109種、137本
- ・美の山公園(秩父市) 約97種、約8,000本
- ・跡見学園女子大学(新座市) 46種、198本
- ・長瀬周辺(野上駅~上長瀬駅他)(長瀬町) 約30種、約500本

各スポットによって園内のルールが異なります。また大学や研究施設は決まった時期に一般開放をしている場所もあるため必ず事前に確認を行ってから訪問してください。

品種名	大まかな花期(関東地方)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ヤマザクラ				↔								
オオヤマザクラ				↔								
カスミザクラ				↔								
オオシマザクラ			↔									
エドヒガン			↔								↔	
チョウジザクラ				↔								
マメザクラ			↔									
夕奈ザクラ					↔							
ミヤマザクラ					↔							
カンヒザクラ		↔										

品種別にみたサクラの花期

上記グラフは日本のサクラ基本種を中心に関東地方での大まかな開花時期を記したものです。

サクラの開花は、毎年気象条件によって前後するため一概には言えませんが、ソメイヨシノの開花時期である3月下旬~4月初旬に花期を迎える品種が固まっているため、多くの種類のサクラを楽しむのはやはりこの時期が一番と言えます。

しかし、2月下旬や10月下旬に開花する品種や、同じ基本種の中でも品種改良されることで開花時期がずれているものもあり、一斉の満開を楽しむことは出来なくても、1本の樹木の開花を楽しんだり、品種で開花を追いかけることで関東地方だけでも長くサクラを楽しむことができます。



クマノザクラ(仮称)

将来的にはこのサクラをベースとして品種改良されたサクラも生まれてくるかもしれません。結果に注目です。

番外編 新種のサクラ発見される!?!
 和歌山県那智勝浦町にて、今までヤマザクラと混同されていたサクラが調査の結果ヤマザクラと異なる新しいサクラであることがわかりました。今春にも新種か変種かがわかるそう、新種と認定されると実に109年ぶりの新種発見となるそうです。現在「クマノザクラ(仮称)」と呼ばれているこのサクラは混同されていたヤマザクラに比べて開花期が早い(3月上旬~下旬)、花のピンク色が強い、葉と花が同時に開花しないなどの相違点があるそうです。

少しだけ紹介～多彩なサクラたち～

ヤマザクラ（山桜）

本州中部以南に自生しており、山と名前がつきますが平地でも普通に見ることができます。日本に自生している基本種の中でもなじみの深い品種で、ソメイヨシノが登場し普及するまでのサクラの花見はヤマザクラを指していたようです。

赤みを帯びた新葉が開き始めると同時に淡紅～白色の花も開花するのが特徴です。

長寿種も多く樹齢 500 年を超えるような個体も存在します。

奈良県の吉野のサクラと言えば全国的に有名なサクラの名所ですが、このサクラはソメイヨシノではなくヤマザクラの事を指しています。公園などによく植えられているため目にする機会も多いサクラではないでしょうか。



赤みのある新葉と開花が同時に見られることがヤマザクラの特徴です。

オオヤマザクラ(大山桜)

主に本州中部以北に自生しており、ヤマザクラよりも葉・花等が大きいのでこの名前が付けられています。

耐寒性が高く、北海道で開花宣言の基準となる標本木にもなっています。

また北海道ではエゾヤマザクラ(蝦夷山桜)とよばれ、サクラの花見とはエゾヤマザクラを指すなど東北～北海道ではポピュラーな品種です。

花の色は淡紅色ですが、ヤマザクラに比べると紅色が強くベニヤマザクラとも呼ばれています。

東京・埼玉などでは自生はあまり見られないようですが、奥多摩湖等やや標高の高い所に自生しているものや、浜離宮恩賜庭園等に植えられているものを見ることができます。



晩春に紅色の強い花を咲かせることがオオヤマザクラの特徴です。

カスミザクラ（霞桜）

北海道・本州・四国に分布しており、ヤマザクラよりも高く、オオヤマザクラよりも低い標高に自生しています。そのためヤマザクラ・オオヤマザクラとは分布域が被って自生しているところもあるようです。

花はヤマザクラに似ていますが、新葉は赤みを帯びずに新緑色であること、花や葉の部位が有毛であることなどが違いとして挙げられます。また、開花時期も本州中部付近で 4 月中旬～下旬と同じ地域ならばヤマザクラよりも開花は遅めです。

日本さくら名所 100 選にも選ばれている小金井公園では多数のサクラが植えられていますが、遅咲きサクラとしてカスミザクラや他の遅咲き品種の桜が植えられています。



新緑色の新葉と開花を同時に見られることがカスミザクラの特徴です。

オオシマザクラ（大島桜）

伊豆諸島と伊豆半島に特に多く自生するサクラです。筆者も伊豆大島に訪れたことがあります。ほとんどがオオシマザクラで、ソメイヨシノは確認できず、島民の方曰く「ソメイヨシノはうまく根付かない」との事でした。これはオオシマザクラが他のサクラに比べ丈夫で潮風にも強いことも一因ではないかと思えます。

真っ白な花はお花見にももってこいの美しさですが、塩漬けにした葉は桜餅の材料として、樹皮や木材は茶筒や木炭として使用されるなど実用性も高いサクラと言えます。

丈夫で美しいオオシマザクラは公園などにもよく植栽されているため、葛西臨海公園、昭和記念公園、武蔵丘陵森林公園など多くの公園で楽しむことができます。



オオシマザクラの花はソメイヨシノよりもやや大きな真っ白美しい花です。

エドヒガン(江戸彼岸)

本州・四国・九州と広く分布しており、彼岸の頃に花を咲かせることからこの名前がついています。

ソメイヨシノの片親であるほか、シダレザクラ等もこのエドヒガンを基に作られています。他にも特徴的な園芸品種として 4 月と 10 月の 2 回花を咲かせるジュウガツザクラという品種もあります。

エドヒガンはヤマザクラと並んで長寿種の多いサクラで、全国には 1,000 年を超える樹齢の樹木も存在し、大光寺(八王子市)のエドヒガン(樹齢約 200 年)や鉢形城跡(寄居町)のエドヒガン(樹齢約 150 年)など東京・埼玉にも現存の老木が見られます。

シダレザクラ等、他のサクラにはない特徴があるため、多くの公園に植栽されています。



やや早咲きで枝垂れなど個性的な品種も存在します。

カンヒザクラ（寒緋桜）

中国南部や台湾に自生しており、古くに沖縄や鹿児島に渡ったサクラです。そのため沖縄でサクラと言えばこのカンヒザクラを指します。

開花の時期が他のサクラに比べて非常に早く 2～3 月に開花すること(沖縄では 1 月)と、下向きで釣鐘状の形に花をつけることが特徴で、カンヒザクラとオオシマザクラの交雑種であるカワヅザクラはその特徴を受け継ぐ美しいサクラとして有名です。

花の少ない 2 月に開花が期待できる品種が多いためか舎人公園、上野恩賜公園、石神井公園、大宮公園など多数の公園で植栽されているほか、花田・新方川緑道(越谷市)にはカンヒザクラの河川敷があり、ソメイヨシノの前にお花見を楽しむ人が多く訪れているようです。



釣鐘上の花を咲かせることがカンヒザクラ群の特徴です。

～当社では障害者、親と暮らすことが出来ない子供たちの施設（社会福祉法人）に皆様から頂いた書類の使用済み切手等を使い、支援活動をしています～